

岩倉市在宅医療・介護サポートセンター

「いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすために」



皆さんは、岩倉市在宅医療・介護サポートセンターを知っていますか。
 岩倉市在宅医療・介護サポートセンターは、医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるまちを目指しています。そのために、地域の医療・介護の関係機関が協力して、切れ目のない在宅医療・介護を提供し、職種を超えた顔の見える関係づくりを通して、さまざまな職種がそれぞれの長を生かして在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりを推進しています。

今回の特集では、高齢者が自分らしく暮らし続けることができる体制づくりを推進している岩倉市在宅医療・介護サポートセンターを紹介します。



MAP

— information —

岩倉市
在宅医療・介護サポートセンター

- ところ 岩倉市川井町北海戸1番地 (岩倉病院内)
- 開所時間 午前9時～午後4時
- 問合せ先 38-5005

— 岩倉市在宅医療・介護サポートセンターって何をしているの？ —

地域の医療・介護の状況把握

- ・地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- ・情報を整理しリスト化やマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

在宅医療・介護の課題を探す

- ・将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計

切れ目のない在宅医療と介護を提供できる体制づくりの推進

- ・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制づくりを推進 など



ACP 普及プロジェクト委員会

在宅医療・介護関係者をつなぐ支援

- ・市民や医療・介護専門職にむけた相談窓口の設置
- ・医療・介護関係者の相談に対応し、連携を支援する
- ・受け付けた相談について、情報共有を図り、市・地域包括支援センターと緊密な連携を図る

地域住民への普及啓発

- ・地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
- ・啓発グッズやホームページ、周知資料などの作成



出前講座

医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・「岩倉のんぼりネット」の登録推進と活用の支援をする
- ・在宅での看取りや入退院等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

医療・介護関係者の研修

- ・多職種の協働・連携に関する研修や医療・介護に関する研修を実施する
- ・地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援を実施する



多職種研修会

ACP(人生会議)の推進に力を入れています!!

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは

人生会議とも言います。自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいることを自分で前もって周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有すること

人生会議 してみませんか？

突然、誰にでも命に関わる病気やけがなどさまざまな事が起きる可能性があります。命の危険が迫ったとき **70%の人**が自分の希望する医療やケアを伝えることができなくなります。自分だけは大丈夫と思わず「事前に準備する」ことが大切です！

Step 1 考えよう

今までの人生を振り返り、これからの人生をどうしていきたいか考えましょう。

- ・これまでの人生で大切にしてきたことは何だったか？
 - ・これからはどのように生きていきたいか？
 - ・家族などに伝えておきたいことは何か？
- など

Step 2 話し合おう

自分の考えや希望などを家族や近い人と話し合い、共有しましょう。

- ・自分が望んでいる医療やケアは何か。
 - ・最期はどこで、誰と過ごしたいか。
 - ・もしものときは、誰に介護をしてほしいか。
- など

Step 3 書き留めよう

考えたことや話し合ったことは、書き留めておきましょう。

「わたしのエンディングノート」は自分の想いや医療・介護のことを記すことで、最期まで自分らしく過ごすための想いをつなぐお手伝いをします。



— INTERVIEW —

岩倉市の在宅医療・介護を支えてきた岩倉市医師会在宅医療担当理事の日比野充伸さんと岩倉市在宅医療・介護サポートセンター職員桑原昭子さんに、岩倉市在宅医療・介護サポートセンターの役割や岩倉市の現状、今後の展望についてのインタビューに答えていただきました。

岩倉市在宅医療・介護サポートセンターは、在宅医療・介護のことで困っている市民の皆さんの相談窓口として、在宅での医療や介護を身近に感じてもらえるような環境づくりを行っています。また、市民の皆さんから在宅医療・介護について相談を受けた際には、本人やその家族が円滑に生活できるようにするために何が必要なのかを考え、アドバイスをするのを心がけています。

他方で、利用者に切れ目のないサービスを提供するために、在宅医療や在宅介護の関係機関がスムーズな連携を行い、利用者にも関係者にもストレスなくサービスの提供ができる体制を目指しています。そのために市の中でどのような課題があるのかを考え、解決策を見つけていくことも仕事だと考えています。

現在、岩倉市在宅医療・介護サポートセンターとして、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に力を入れています。ACPとは、自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいることを前もって周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有することです。その方法として、人生会議やエンディングノートがあります。

人生会議とは、将来受ける医療およびケアについて、家族など近い人たちと何度も話し合うことを指します。それにより自分が望まない医療やケアを受けることがなくなり、最後まで自分らしく過ごすことができるようになります。加えて、エンディングノートを活用することにより、それはより効果的になります。エンディングノートには人生会議で周囲の人たちと話し合った内容はもちろ

ん、自分が最期をどのように迎えたいか、延命治療の選択はどうしたいかなど自分の気持ちや価値観を書き留めることができます。このように人生会議の実施やエンディングノートを活用することで、自分だけでなく家族の負担も軽減することができます。

現在、自分の住み慣れた環境で医療や介護を受けるために在宅医療・介護を選択する人が増えています。岩倉市在宅医療・介護サポートセンターとしては、より多くの皆さんに人生会議やエンディングノートの活用を知ってもらい、在宅医療や在宅介護の良さを理解してもらえようというと考えています。

在宅医療や在宅介護の現場では、家族の「真剣に向き合うことができた」「しっかりと寄り添うことができた」という声

を耳にします。自分の住み慣れた環境で、医療や介護を受けることができる本人だけではなく、家族の気持ちも楽にすることができます。

医療や介護の質の向上に貢献するために、以前は医療従事者や介護従事者を集めての勉強会や交流会を開催していましたが、コロナ禍で、在宅医療・介護サポートセンターとしてやりたかった事業が思うようにはできませんでした。まずは、それを再開し、交流を深め、医療と介護がスムーズに連携することができる体制づくりをしていきたいと思っています。



(左) 岩倉市医師会在宅医療担当理事 日比野 充伸 さん

(右) 岩倉市在宅医療・介護サポートセンター職員 桑原 昭子 さん